

様式第3号

室根地区学校運営支援協議会 会議録

- 1 会議名 令和7年度第2回室根地区学校運営支援協議会
- 2 開催日時 令和7年11月25日（火） 14時40分から16時00分まで
- 3 開催場所 室根小学校
- 4 出席者 12名
- 5 議題
 - ・1学期まなびフェストアンケートの分析の総括
 - ・問題提起について
 - ・提案事項について
- 6 公開、非公開の別 公開
- 7 傍聴人 1人
- 8 議事内容

＜地域の人財活用について＞

村上：小学校の業務改善として具体的に地域ができることはないか？

金野校長：今までもボランティアで協力をいただいている。

家庭学習の丸付け、給食配膳などちょっとしたことでも助かる。

金森会長：学校支援事業がある。元教師たちもメンバーとなっている。

先生方も遠慮しないで要望してほしい。先生方も自由に言える環境を。

三浦：地域の高齢のボランティアの活用もある。

＜読書について＞

金森会長：子供たちは読書に熱心である。先日移動図書館「なぎさ号」に集まって本を借りている子供の多さに驚いた。

金野校長：子供たちは読書好きである。「なぎさ号」は大人気。ただ、家庭での読書には繋がっていない。

横澤：本の紹介文を作る取り組みが良い。

大道校長：朝自習の時間に週3回プラス日報で新聞を読ませている。今のところ効果は薄い。感想を書かせるなどして読む姿勢を身につけさせたい。

小野：読み聞かせを保護者にお願いしている。「週1冊でも読み聞かせを！」と図書館の利用を促している。幼児期は絵本が大事。しかし今は親がスマホをいじっている。ネットで様々なものを購入。実際に足を運んで買わない。

<インターネットについて>

横澤：物を調べる能力を身に着けさせることの大切さ。スマホでは頭に入らない。実際に調べることが大切。

村上：大人の世界では厄介なものである。しかし。これからも時代はデジタルコンテンツの使用は必要不可欠。正しく使いこなすことが大切である。

金野校長：レポートをデジタルで作成している。

三浦：チャットGPTの活用。

横澤：家庭では、スマホに時間を取られている。家庭学習の阻害。

三浦：ゲームの世界に入ると課金等の問題が。

大道校長：メディアコントロール。保護者と連携して繰り返し伝えていくしかない。

<中学校の提案事項について>

横澤：3学期に中学校で講演をしてくれる人はいないか？

大道校長：金森さんをお願いできないか？

「金森さんは以前室根中学校の用務員として長年勤務し、室根中の歴史を知っている方である。また、駅伝で県優勝を果たした時のコーチとして、陸上競技の発展に貢献してきた。現在室根市民センターで所長をしており地域の方々との繋がりも大きい。講演目的としては、地元の室根の伝統や歴史を知り、郷土の良さを再発見するとともに、室根中の一員として誇りと自信を持ってほしいという願いから」

村上：生き方学習について、まずは職業について知ることが大切。「〇〇士」という仕事は中学生のうちから知る必要がある。地域の大人が伝える。農家など地域に根ざした職業で良い。

横澤：「13歳のハローワーク」という本がある。

金野校長：将来の夢はなかなか思いつかない。普段から接する大人の話。ふれあいが大切。地元でハラミ焼の方。良い例だった。

その他：中学校の校舎の屋根の修繕はどうなっているのか？

→支所に見積もりをしている。数千万単位のお金がかかる。

9 担 当

一関市立室根中学校 事務局 副校長 及川秀明

